

# OnePortal Modern

## サービス仕様書

この OnePortal Modern サービス仕様書（以下「本仕様書」といいます）は、SB テクノロジー株式会社（以下「SBT」といいます）が提供するクラウドサービス「OnePortal Modern」（以下「本サービス」といいます）の提供内容、提供範囲、提供方法、提供水準、利用時間帯その他の諸条件を定めるものです。本仕様書は「NOZ CLOUD サービス約款」の一部を構成するものとします。なお、当該サービス約款において定義された用語は、本仕様書において別段の定めのない限り、本仕様書においても同様の意味に用いるものとします。

### 目次

1. サービス内容、範囲 .....	3
1.1 サービスの概要 .....	3
1.2 サービスメニュー .....	3
1.3 サービス内容 .....	4
1.3.1 提供内容 .....	4
1.3.2 利用条件 .....	4
1.3.3 利用上の注意点 .....	4
2. サービスレベルアグリーメント (SLA) .....	7
2.1 サポートデスク受付 .....	7
2.1.1 サポートデスクへの問い合わせ担当者 .....	7
2.1.2 サポートデスク対応内容 .....	7
2.1.3 サポートデスク対応時間 .....	8
2.2 障害対応 .....	8
2.3 サービスの運用 .....	8
2.4 可用性 .....	8
2.5 計画停止 .....	8
2.6 補償請求 .....	9
3. セキュリティ .....	10
4. クライアント機器の利用環境 .....	11
5. ネットワーク .....	11
6. 耐障害性 .....	12
7. パフォーマンス .....	12
8. データ .....	12
9. トライアル .....	13
9.1 トライアル内容 .....	13
9.1.1 トライアル提供内容 .....	13
9.1.2 トライアル利用条件 .....	13

9.1.3 トライアル利用上の注意点 .....	13
10. 利用開始 .....	13
11. 利用終了 .....	13
11.1 サービス停止の実施 .....	13
11.2 サービス停止時の注意事項.....	14
12. その他禁止事項.....	14
13. その他制限事項.....	14
14. 契約に関する注意事項.....	14

## 1. サービス内容、範囲

### 1.1 サービスの概要

- ・ 本サービスは、SharePoint Online に対するサイト作成を行うプラットフォームであるプロビジョニングサイト、カスタム Web パーツ、解析機能における当システムの正常性に関する運用・保守をご提供いたします。
- ・ 本サービスは、SBT と直接または販売店（第 2 次販売店以降含む）（以下、「販売店」）を通じて利用契約を締結された契約者に提供されるものとします。

### 1.2 サービスメニュー

本サービスのメニューは以下のとおりになります。

#### ■基本メニュー

メニュー		内容
基本メニュー	開通費用	本サービスの初期設定に際して発生する費用
	サービス利用料	本サービスの利用の対価

※ 最低契約期間は 1 年となります。

※ 「基本メニュー」は、プロビジョニング機能、カスタム Web パーツ、解析機能の利用となります。

※ 「サービス利用料」は、本サービスを利用するユーザー数に応じた課金となります。

#### ■オプションメニュー

メニュー		内容
みやすい解析	サービス利用料	本オプションの利用の対価

※ 「サービス利用料」は、本サービスを利用するユーザー数に応じた課金となります。

※ オプションメニューの契約期間の終了日は基本メニューの契約期間の終了日に合わせた契約となります。

メニュー		内容
Knowledge Bot	サービス利用料	本オプションの利用の対価

※ 「サービス利用料」は、本サービスを利用するユーザー数に応じた課金となります。

※ オプションメニューの契約期間の終了日は基本メニューの契約期間の終了日に合わせた契約となります。

※ Knowledge Bot に関するサービス仕様は下記リンク先にある Knowledge Bot のサービス仕様書に準拠します。

<https://www.softbanktech.co.jp/doc/cloud/> （NOZ CLOUD に関する約款・仕様書など）

メニュー		内容
ポットノナカミ	サービス利用料	本オプションの利用の対価

※ 「サービス利用料」は、本サービスを利用するユーザー数に応じた課金となります。

※ オプションメニューと基本メニューの契約期間の終了月は合わせた契約となります。

メニュー		内容
カテゴリオプション	サービス利用料	本オプションの利用の対価

- ※ 「カテゴリオプション」は、カテゴリ 5 個までは Knowledge Bot のサービス利用料に含まれます。
- ※ 6 個以上ご利用になる場合は、10 個単位での追加オプションの申込みが必要になります。
- ※ オプションメニューの契約期間の終了日は基本メニューの契約期間の終了日に合わせた契約となります。

### 1.3 サービス内容

#### 1.3.1 提供内容

- ・ OnePortal 本体
- ・ 管理サイトおよびツール
- ・ マニュアル一式（管理者マニュアル/導入マニュアル）
- ・ 問い合わせサポート
- ・ <オプションをご契約の場合>
- ・ Knowledge Bot をご契約の場合
  - チャットボット本体
  - 管理サイトおよびツール
  - マニュアル一式（ユーザーマニュアル/管理者マニュアル/導入マニュアル）
- ・ みやすい解析をご契約の場合
  - みやすい解析本体
  - 管理サイト
  - マニュアル一式（管理者マニュアル/導入マニュアル）
- ・ ボットノナカミをご契約の場合
  - ボットノナカミコンテンツ一式

※ サービス利用開始までに必要な内容を開通通知にて連絡します。

#### 1.3.2 利用条件

- ・ SaaS 型のサービス提供となる為、お客様側でサーバー実行環境をご用意いただく必要はありません。
- ・ OnePortal Modern 管理者用に、以下の要件を満たすアカウントをご指定ください。
  - クラウド ID であること（※ クラウド ID とは、Azure AD 上に存在するアカウントです。）
- ・ SharePoint 管理センターのアクセス制御にて下記の設定である必要がございます。
  - 特定の IP アドレス範囲によるアクセス制限がされていないこと。

#### 1.3.3 利用上の注意点

- ・ カスタム Web パーツを配置するカタログサイトを展開頂きます。展開手順は「別紙.初期設定作業」をご確認ください。
- ・ 設計書、テスト仕様書、ユーザー向けのマニュアル等は含まれません。
- ・ 提供するマニュアルは OnePortal Modern に関する部分のみ記載します。標準機能の説明は、Microsoft 提供の製品マニュアルを参照ください。

**解析機能利用時の注意事項**

- ・ 分析の期間は最長で 730 日（2 年間）となります。
- ・ すべての操作を追跡できることをお約束はできません。ベストエフォートでできる限りの操作を追跡できるようにしますが、SharePoint Online の仕様次第で追跡できない操作がある可能性があります。また、SharePoint Online の仕様変更により、現時点で追跡できている操作も追跡できなくなる可能性があります。2024/6/13 時点で把握できている限りで以下の操作は追跡できません。
  - 以下拡張子以外のファイルの閲覧、ダウンロード
    - ✓ odt、dotx、dotm、docx、docm、pptx、pptm、ppsx、ppsm、potx、potm、odp、csv、xlsx、xlsm、xlsb、ods、vsdx、pdf、txt、rtf、jpg、gif、png、bmp、avi、wmv、mp4、mov、mpeg、mpg、mpe、m1v、m2v、zip
  - 階層型掲示板 Web パーツ、リストアイテムをダブルクリックして表示する詳細パネルの閲覧
  - ヒーロー Web パーツ からのリストアイテム、ファイルの閲覧
  - ファイルの三点メニューからの「ダウンロード」、「アプリで開く」による閲覧、ダウンロード
  - 下記機能からの Office ファイル、一部の動画ファイル、一部の画像ファイルの閲覧
    - ✓ 画像スライダー Web パーツ
    - ✓ リンク Web パーツ
    - ✓ 強調表示されたコンテンツ Web パーツ
    - ✓ Teams 通知機能が通知するリンク
    - ✓ ライブラリのリンクのコピーから生成された URL
    - ✓ リンク列に設定されたリンク
    - ✓ 拡張リッチテキスト列に設定されたリンク
  - Microsoft Teams の「ファイル」タブからのファイルの閲覧、ダウンロード
  - Microsoft Teams による検索
- ・ 一部の操作はクリックイベントをもとに追跡しています。そのため、リンクの URL の設定の仕方によっては追跡できない可能性があります。推奨の URL の取得方法はマニュアルをご確認ください。
- ・ 一部の操作はページロードとクリックイベントの両方のイベントをもとに操作が記録されるため、1 回の閲覧に対して、二重でカウントされる可能性があります。2024/6/13 時点で把握できている限りで以下の操作は二重でカウントされます。
  - 下記機能からの ニュースページの閲覧
    - ✓ 画像スライダー Web パーツ（新しいタブでリンクを開く：ON）
    - ✓ クイックリンク Web パーツ（新しいタブでリンクを開く：ON）
    - ✓ リンク列に設定されたリンク
    - ✓ タブリンク Web パーツ
    - ✓ ニュースパネル Web パーツ（記事全文表示）
    - ✓ サイドメニュー Web パーツ
    - ✓ テキスト Web パーツ（新しいタブでリンクを開く：ON）
  - 下記機能から PDF ファイル、テキストファイル、ZIP ファイル、一部の動画ファイル、一部の画像ファイルの閲覧
    - ✓ ライブラリのビュー
    - ✓ 検索結果ページ

## ✓ ライブラリ Web パーツ

- ・ モダン UI のコミュニケーションサイト、及びチームサイトで作成されたサイトのみ追跡できます。モダン UI のサイトであってもクラシック表示のリストは追跡できません。
- ・ SharePoint のモバイルアプリによる操作は追跡できません。
- ・ ゲストユーザーの操作は追跡できません。
- ・ トラッキングデータは日本時間の午前 1 時に実行するバッチ処理にて Web に反映されます。バッチ処理実行中には集計データを更新するため、一時的に Web から閲覧できるデータの件数が部分的に不正な場合があります。
- ・ Microsoft Entra ID で変更されたユーザーの表示名、部署、役職の情報は午前 1 時に実行するバッチ処理にて Web に反映されます。
- ・ Microsoft Entra ID から削除されたユーザーは Web 上では UPN のみで表示されます。
- ・ Microsoft Entra ID で UPN を変更した場合、変更前後で異なるユーザーとしてデータが集計されます。

**生成 AI 機能利用に関するご留意事項**

- ・ 本サービスでは、ユーザーの業務効率向上を目的として、一部機能において Microsoft 社が提供する生成 AI サービス「Azure OpenAI Service」を活用しています。  
なお、生成 AI を利用した機能は現在ベータ版として提供中であり、仕様や提供範囲が変更される可能性があります。

**1. 利用する AI サービスについて**

- ・ サービス名 : Azure OpenAI Service (提供 : Microsoft Corporation)
- ・ サービス概要 : <https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/ai-foundry/openai/overview>
- ・ データプライバシー情報 :  
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/legal/cognitive-services/openai/data-privacy>
- ・ Azure OpenAI Service は、Microsoft Azure の商用環境上で提供される大規模言語モデルサービスであり、業務利用を前提とした高いセキュリティとプライバシー保護が提供されています。

**2. ベータ提供中の生成 AI 機能**

- 以下の機能において、生成 AI を利用しています (※いずれもベータ版です) :
  - ✓ 文章生成 (複数行テキスト)
  - ✓ 文章要約 (タブ形式 Web パーツ)
  - ✓ 通知内容要約 (Teams 通知機能 (日次))
- ・ これらの機能は、ユーザーが入力した情報をもとに自然言語処理を行い、補助的なテキストを生成するものです。

**3. 入力情報の取り扱いとセキュリティ**

- ・ 生成 AI に送信される情報は、リストタイトルやリストアイテムの情報、プロンプトなど、特定の形式で整えられたテキスト情報のみに限定されています。
- ・ これらの情報は、AI モデルの学習・再学習には使用されず、また OpenAI 側に保持されることもありません。
- ・ 通信は TLS 等による暗号化により安全に行われます。

#### 4. ベータ版機能に関するご留意事項

- ・ 現在提供中の生成 AI 機能は、ベータ版であり、一部仕様変更・出力品質の揺らぎ・提供停止の可能性があります。
- ・ 機能の安定性・網羅性・結果の正確性について保証するものではありません。業務利用時には、出力内容をご確認の上ご利用ください。
- ・ 個人情報や機密情報（例：顧客名、契約情報など）を入力しないようご注意ください。

#### 5. 今後の対応

- ・ ベータ提供中の生成 AI 機能については、利用状況やフィードバック等を踏まえ、今後の正式リリース・改善・提供範囲拡大等を検討してまいります。
- ・ 主要な変更がある場合は、別途お知らせいたします。

## 2. サービスレベルアグリーメント (SLA)

---

### 2.1 サポートデスク受付

#### 2.1.1 サポートデスクへの問い合わせ担当者

SBT から直接本サービスの利用権を購入した契約者に関しては契約者の管理責任者及び運用担当者（3 名以内）を、また販売店から本サービスの利用権を購入した契約者に関しては、問合せの一次窓口は販売店とし、販売店内にて管理責任者及び運用担当者（3 名以内）を決定していただき、SBT に通知（登録）いただいた管理責任者及び運用担当者からの問い合わせのみの受付となります。

#### 2.1.2 サポートデスク対応内容

- ・ 本サービス範囲内における以下の内容をサポートデスクにてご対応いたします。
  - 仕様に関するお問い合わせ
  - 動作不具合に関するお問い合わせ※ Office365 などの関連する外部サービスの仕様や問題については、お客様にてサービス提供企業 (Microsoft 社 等)にお問合せいただく場合がございます。
- ・ 本サービスでは障害情報やメンテナンス情報の提供、ならびにサポートデスクへのお問い合わせをポータルサイトよりご利用できます。
- ・ ポータルサイトのアクセス権は『2.1.1 サポートデスクへの問い合わせ担当者』様へ付与いたします。
- ・ 『2.1.1 サポートデスクへの問い合わせ担当者』様につきましては、ポータルサイトのご利用可能なお客様環境のご準備をお願いいたします。（具体的なお客様環境で必要なアクセス要件は「5. ネットワーク」をご参照ください。）
- ・ 本サービスにて提供するサポート・資料は全て日本語での提供とします。

### 2.1.3 サポートデスク対応時間

- ・ ポータルサイトによる受付：24 時間 365 日（閏年 366 日）（受付メールに対する返信は SBT 対応時間内での対応とします）  
※ポータルサイトをご利用いただけない場合は、電子メールにて受付します。
- ・ 対応：SBT 営業日の 10:00 - 17:00
- ・ 問い合わせ担当者からの問い合わせに SBT が対応する時間は 1 ヶ月あたり 20 時間までとします。ただし、SBT の責めに帰すべき事由による障害対応時間は含めません。
- ・ 問い合わせ受付後は速やかに受付のご回答及びその後の対応を開始するよう努めますが、保証値はベストエフォートとなります。
- ・ 問い合わせに対し商業上合理的な範囲で問題解決が出来るよう努めますが、全ての問題解決を保証するものではありません。

## 2.2 障害対応

本サービスの障害の対応

- ・ 障害対応時間：土、日、祝日および SBT 指定休日を除く平日 10：00～17：00
- ・ 障害対応時間内に、SBT にて、状況の確認を行うものとし、本サービスが提供する機能の利用可否を通知するものとします。
- ・ SBT プログラムの障害の場合は、SBT にて再立ち上げを含め対応するものとします。
- ・ 障害が発生した場合、商業上合理的な範囲でデータの復元が出来るよう努めますが、データの復元が可能であることおよびすべてのデータを完全に復元することを保証するものではありません。
- ・ SBT は、本サービスにおいて、障害等によりデータが失われた場合、速やかに原因を追求し、復旧に努めるものとなりますが、このことは復旧を確約するものではありません。なお、販売店および契約者の責に帰すべきデータ消失について、SBT は復旧対応について何らの義務および責任を負うものではありません。
- ・ SBT は、システム障害などで販売店および契約者のデータを確認する必要があると判断した場合に、当該データを確認することがあります。販売店および顧客は SBT が当該データその他必要情報の提供を求めた場合、すみやかに応じるものとします。

## 2.3 サービスの運用

SBT は、本サービスにアクセスされた方の履歴「アクセスログ」を記録し、保守管理や利用状況に関する統計分析のために利用することがあります。SBT は、アクセスログを保守管理や利用状況に関する統計分析以外の目的で利用しないものとします。

## 2.4 可用性

SBT は、本サービスの可用性を 99.5%（ただし努力目標とし、保証値は「2.6 補償請求」に定める）とします。算定の際には計画停止時間は含まれないものとします。

## 2.5 計画停止

SBT がアプリケーションの更新が必要であると判断した場合、バージョンアップおよび、メンテナンスを SBT 指定の時間で行います。予定

されているバージョンアップおよび、メンテナンスについて下記通知期限を目標に、事前にお客様に通知する努力を尽くしますが、緊急時のメンテナンスについては事前に通知することができない場合があります。メールにて事前に登録頂いたメールアドレス宛に通知します。

区分	リリース内容	連絡期限
計画	機能追加/バグフィックス/機能改善（サービス停止あり）	2 週間前
計画	機能追加/バグフィックス/機能改善（サービス停止なし）	1 週間前
計画	メジャーバージョンアップ/業務に影響のある UI 変更	2 週間前
計画	機能の廃止	1 ヶ月前
計画	システム要件の追加	2 週間前
計画	システム要件の削除	1 ヶ月前
緊急	サービス継続に必要な緊急メンテナンス	即日都度
緊急	メンテナンス後に問題が発生した切り戻し	即日都度

## 2.6 補償請求

請求の前提条件	<p>SBT は、本仕様書に規定されているサービスレベルを達成しない場合、本項の定めに従い、契約者に対して補償を行います。契約者への補償は、契約者が SBT に請求した場合に限り実施するものとします。</p> <p>契約者が本仕様書に基づく補償請求を行う場合、「障害」の発生後 3 営業日以内に SBT に補償請求の意思を報告し、障害発生の翌月 15 日までにその請求の内容を裏付ける根拠となる資料を提示するものとします。</p> <p>また、契約者は、補償請求を行い得ることとなった日から 3 ヶ月を経過する日までに請求をしなかった時は、本規定に基づく権利を失うものとします。</p>
補償の対象となる障害定義	<p>① ダウンタイムの定義</p> <p>本サービスへの接続不能状態（以下（ア）に定める基準に従う）が 10 分以上継続した状態の 1 請求月間の合計累積時間（分）をダウンタイムと定義します。なお、同じ障害が原因で、以下に定める基準の複数のダウンタイムが発生した場合、契約者は、補償請求を行うダウンタイムを 1 つだけ選ぶ必要があるものとします。</p> <p>（ア）本サービスの Web アプリケーションへの接続の試行が 1 分間連続して接続が失敗した場合に、本サービスは 1 分間使用できなかったとみなされます。</p> <p>② ダウンタイムの除外要件</p> <p>以下の場合にはダウンタイムとみなしません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SBT よりあらかじめ通知されたシステム停止</li> <li>・ 10 分未満の断続的な接続不能</li> <li>・ 契約者のネットワーク障害など契約者環境に起因する場合</li> <li>・ 利用者の故意又は過失に起因するサービス停止</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Office 365、Microsoft Azure の障害</li> <li>・ 天災地変その他の不可抗力によるサービス停止</li> <li>・ 本サービスで展開後の Web パーツ、サイトの利用不能状態 ※ 利用者による設定変更や Office 365 の自動アップデートによる利用不能状態を想定しております。</li> <li>・ 本サービスのサービス約款第 12 条（本サービスの停止）に該当する場合</li> </ul> <p>③ 障害起点定義 事前に告知がない状態でダウンタイムが発生した時間</p> <p>④ 復旧定義 SBT でシステムが正常に稼働していることの確認が取れた時間</p>
月間稼働率	<p>本サービスの利用があった暦月の総時間に利用者の総数を乗じ、当該暦月に請求事由となる障害の影響を受けた全利用者のダウンタイムの総時間を差し引いた数値を当該暦月の総時間に利用者の総数を乗じて得られた数値で除すことにより算出されます。</p>
補償内容	<p>月間稼働率が 99.5%を下回った場合、影響を受けた当該暦月の月額料金の 10%を返還します。</p> <p>※ 複数月一括払いを行っている契約者の場合、一括払いの料金を定められた一括払いの月数で除した金額（小数点以下の端数は四捨五入）を当月の月額料金とします。</p> <p>【例】 [補償対象] 一か月（31 日×24h=744）の間に利用者数 3,000 の内、2,000 利用者が 8 時間の間利用不可になった。 <math>(744h \times 3,000 - 8h \times 2,000) \div (744h \times 3,000)</math> ≈99.28%（影響を受けた暦月の月額料金の 10%の補償対象）</p> <p>[補償対象外] 一か月（31 日×24h=744）の間に利用者数 1,000 の内、100 利用者が 24 時間の間利用不可になった。 <math>(744h \times 1,000 - 24h \times 100) \div (744h \times 1,000)</math> ≈99.67%（補償対象外）</p>

### 3. セキュリティ

- ・ SBT は、本サービスにおいて、以下のセキュリティ管理を行うものとします。

- システムへのアクセスは Office 365 (Azure AD) の認証により制御されています。
  - SSL 証明書により通信データが暗号化されています。
  - データベースの保存データは暗号化されています。
  - アプリケーションは脆弱性診断を行っております。
- ・ 以下は Microsoft Azure のサービスに準拠します。
    - データセンターの敷地、建物、サーバー室、機器に関する事項
    - データセンターの管理や運用に関する事項

## 4. クライアント機器の利用環境

---

- ・ 端末は以下を満たしている必要があります。
  - 最新バージョンの Edge、Safari、Chrome および、Firefox ブラウザーで利用可能です。  
※なお、Edge での IE モードの利用はサポート対象外となります。
- ・ Office 365 のプランは以下を満たしている必要があります。
  - SharePoint Online の利用が可能なプラン。

## 5. ネットワーク

---

- ・ インターネットおよび、SharePoint Online に接続できる環境である必要があります。
- ・ ファイアウォール等によって、当サービスにアクセスできない場合があります。このような場合、ファイアウォール設定を変更して頂くことによ  
ってご利用可能になります。本サービスはポート 443 の HTTPS プロトコルで、下記ドメインと通信可能である必要があります。
  - <https://sbtoneportal.com>
  - <https://oneportal-funcapp.azurewebsites.net>
  - <https://code.jquery.com>
  - <https://cdnjs.cloudflare.com>
  - <https://stackpath.bootstrapcdn.com>
  - <https://oneportalprod.blob.core.windows.net>
  - <https://pnptelemetryproxy.azurewebsites.net>
  - <https://prodaccess.azureedge.net>
  - <https://prod-evhns-access.servicebus.windows.net>
  - <https://sbtoneportal-access.com>
  - <https://japaneast-1.in.applicationinsights.azure.com>
  - <https://prod-func-opm-spf.azurewebsites.net>
  - <https://prodopm.azureedge.net>
  - [wv003.sibulla.com](https://wv003.sibulla.com)
  - [wv004.sibulla.com](https://wv004.sibulla.com)

- wl003.sibulla.com
- wl004.sibulla.com

- ・ SBT は、インターネット回線事業者・ISP の都合によりシステム利用に支障が発生した場合の責任は負わないものとします。
- ・ 端末のネットワーク帯域が遅い回線をご利用すると、ご利用に支障をきたす場合があります。

## 6. 耐障害性

---

- ・ データベースに保存している情報はお客様の契約情報（契約企業情報（企業名、企業住所）、契約者情報（契約者名、メールアドレス、部署名）、運用者情報（運用者名、メールアドレス、電話番号）、Office 365 テナント情報（管理者アカウント ID、テナント名））のみです。申込書の情報をデータベースとは別に保存している為、データベースの情報に問題が生じた場合も復旧することが可能です。
- ・ Web アプリケーションは 2 つ以上のインスタンスが異なる障害ドメイン（障害の物理的な単位）に配置されています。その為、いずれかのラック内で障害が発生しても、サービスを継続することが可能です。ただし、異なるリージョン間においては冗長化されていない為、リージョン全体で障害が発生した場合は、サービスを継続することができなくなります。
- ・ 解析機能について、データベースにお客様テナント内のユーザー名、UPN、部署、役職、アイテムやファイルのタイトル等の情報を保存します。Azure 標準のバックアップ機能により 7 日間のバックアップが取得され、任意の時点で復旧することができます。尚、Azure 標準のバックアップ機能の仕様については 2024/6/13 時点のものであり、今後変更される可能性がございます。

## 7. パフォーマンス

---

- ・ レスポンスタイムはベストエフォートでの提供となります。

## 8. データ

---

- ・ 契約期間終了日の翌日よりデータベース内のすべてのデータを削除します。
- ・ IIS ログおよび、アプリケーションのトレースログを 365 日分保存しますが、基本的には開示しません。ただし、不正アクセス等、セキュリティ関連の特別な事象が発生した場合のみ、ご相談に応じて対応させていただきます。
- ・ 資料の提出等、お客様個別の監査依頼には対応しないものとします。
- ・ お客様の過失により消失したデータの復旧サービスは提供していません。

## 9. トライアル

---

- ・ 本番契約前に利用いただけるトライアルメニューになります。

メニュー	契約数
無償トライアル	-

※ トライアルは 1 社 1 回、30 日間限定となります。

### 9.1 トライアル内容

#### 9.1.1 トライアル提供内容

※ トライアル開始までに必要な内容を開通通知にて連絡します。

#### 9.1.2 トライアル利用条件

- ・ 下記の機能についてはトライアル環境ではご利用できません。
  - Teams カスタムアプリ機能
  - みやすい解析
  - 解析機能

#### 9.1.3 トライアル利用上の注意点

- ・ トライアルの利用は、申込書の管理者、運用担当者欄に記載の 3 ユーザー限定です。
- ・ 機密事項、個人情報等の登録はお控えください。ご利用に際して情報の消失等があった場合でも、当社は責任を負うことができません。
- ・ トライアル終了日翌日からトライアル利用を停止します。
- ・ トライアルは SLA の適用はありません。
- ・ トライアル環境から本番環境へのデータ移行は行っていません。

## 10. 利用開始

---

- ・ あらかじめ同意された利用開始日までに、開通通知を送付します。利用開始日をもってサービスの利用開始となります。
- ・ サービスの利用開始の際は申込書の記載が必要です。その他、契約方法、課金についての重要事項、注意事項の詳細については、[「契約ガイド」](#)をご確認ください。

## 11. 利用終了

---

- ・ 契約期間の終了をもってサービス利用の終了となります。

### 11.1 サービス停止の実施

- ・ 契約終了日の翌日より下記の対応を実施します。
  - お客様データの削除

### 11.2 サービス停止時の注意事項

- ・ 削除したデータはいかなる場合も復元できません。
- ・ サービス停止時にお客様環境での作業が必要となる場合は、管理責任者及び運用担当者へ作業内容をご連絡します。
- ・ 終了時の契約方法、課金についての重要事項、注意事項の詳細については、「[契約ガイド](#)」をご確認ください。

## 12. その他禁止事項

---

- ・ サービスの利用にあたり禁止事項を設けています。違反を確認した場合、サービス利用を停止します。
  - 本ソフトウェアの複製を作成すること。
  - 第三者に対して譲渡、貸与、もしくは再許諾すること。
  - リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを行うこと。

## 13. その他制限事項

---

- ・ その他、下記については SBT では対応できませんのであらかじめご了承ください。
  - お客様個別の監査対応。
  - SBT の提供するサービスに、SBT 以外の第三者から何らかのサービス等を受けた場合、当該サービス等について一切の責任を負わないものとします。

## 14. 契約に関する注意事項

---

- ・ トライアル、本番（新規、変更、解約/終了時）の契約方法、課金方法の詳細については別紙「[契約ガイド](#)」をご確認ください。
- ・ 申込書の注意事項をよくご確認ください。

以上

2025年8月12日 改定